

令和6年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和7年4月23日

団体所在地 広島市中区江波南1丁目8-18

団体の名称 一般社団法人育ちの森

職・氏名 園長 隅田 さちえ

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

- ・皿山で自然物に触れながら散策を楽しむ。

【7月～9月】(夏季)

- ・竹のおもちゃの制作のため、竹を伐採する。
- ・自然クラフト講習会
- ・竹玩具を作る。

【10月～12月】(秋季)

- ・幼児組保護者交流会
- ・2歳児江波山散策
- ・年長児門松づくりの竹を伐採

【1月～3月】(冬季)

- ・江波山にて保育士の資質向上の取り組み

活動報告（詳細）

【4月～6月】

（写真）



（エピソード記述）

山のあそびについてどのようなあそびがあるのか新担任の保育士と共に行く。葉っぱ一つで変化がたくさんあり何通りものあそびが繰り広げられていた。遊びの中で手先をつかった遊び、考えて作るあそび感覚を試すあそびなどが様々で、個々の力がたくさん見られた。子どもたちだけではなく大人も魅了され遊びの引き出し方や展開の仕方を学べた。五感を使って自然と触れる経験ができた。菊間先生が繰り広げられるあそびにじっくり集中しながら子どもたちは午前の過ごしの中で笑顔が絶えず遊び込んでいた。

【7月～9月】

（写真）



（エピソード記述）

のこぎりを初めて使った3歳児は、菊間先生の話聞き、刃物を触る子はいなかった。力の入れ方や、身体の重心の取り方は少し難しい様子だったが、「まだやりたい」と意欲がどんどん膨らんでいる様子だった。はじめての道具に緊張したのか、「やらない」と自分で選択する子もいた。よく見て観察したことで、次回への取り組みに繋がると感じた。

4, 5歳児は、竹を切る経験があったからこそ、どこに人がいると危険なのか、切る時はどのような姿勢だと一番力が入るのか、体が覚えている様子だった。自分の軸がしっかりとれている子は最後まで諦めず、切る姿があった。身体が細かったり、手先の力が弱かったりする子はすぐに活動から外れる子がいた。竹ぼうくりの操り方をどのように獲得していくか、日々足先をしっかりと使っているのか個々の姿を確認しながら、あそびに取り入れていく。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

親子でお散歩会を行う。保護者の方と共に江波山での過ごし方を知りながら子どもたちがどんな遊びをしているのか一緒に過ごしながら学ぶ。葛の葉でお面作り、どんぐりコマやヤジロベエに触れながら子どもも大人も立ち止まる度に夢中になる姿があった。子どもたちは自然に触れながら触覚、嗅覚などの五感をつかい斜面などのでこぼこ道で平衡感覚を養う。遊びの中で育つ力があることを保護者の方にも伝えられるきっかけとなった。自然の不思議さや美しさなどに触れていると好奇心、探求心が育つ。成長してから幼少期の経験が繋がってくる。一緒に活動していた大人が童心にかえりあそびに夢中になったということは、子どもにとって楽しい時間であり、心の育ちが培われていくのだと感じた。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

江波山で過ごす子どもの姿を保育士間で想定して話をしておくことが大事である。

安全マニュアル作る作業がとても大切であり、先生たちで半期に一度でも見直ししながら、どんどん作り替えていく。マニュアルを自分たちで考えながら直していく事で大人も落ち着いて散歩に同行していけるようになる。

小さな怪我をし、小さな痛い思いを経験することはとても大事である。経験が身についていく事で自分で自分の身を守れるようになっていく。

山あそびがなぜ大事なのか？その意義を保護者に事前にしっかり伝えていくこと。冷たい、硬い、でこぼこ…。触覚をしっかり取り入れながら保育をしていく事が大事である。

自然保育の中で子どもの育つ力を知り、保育に下ろしていくとともに職員の意識も少し深めたと感じる。1歳児から登る江波山のマニュアル作りをみんなでしていきたい。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

・職員の資質向上について

山あそびについての知識、危険性、自然保育を深めていくために職員研修を行った。

今年度あった自然保育の研修に出向き、報告書や会議などで職員全体におろしていくようにした。

・地域との関わりについて

月に一度、こぎつね畑という場所へいき、介護施設の方と触れ合う時間を作っている。野菜の収穫を一緒にしたり、一緒にの空間で過ごしたりすることで関わりを深めている。

・保護者との関わりについて

今年度初めて保護者交流会という形で、親子でお散歩会を開いた。日常を共に過ごすことで子どもの力や姿に向き合うきっかけとなる。

また、毎月、保護者の方が自由に参加できる保育参観や、梅干しづくり。秋には収穫した芋で焼き芋をしたりしている。

・その他

自然クラフトでは、園にない竹の玩具を作った。その経験をもとに竹でお皿を作り、お泊り保育では自分専用のお皿にコップを竹で用意し、竹に触れる機会がとても増えた。

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	https://www.instagram.com/sodachinomori/
-------	---